

政府陳情報告書

平成 30 年 2 月 13 日

貝塚市議会議長 田中 学 殿

自由市民 食野 雅由
田畑 庄司
議長 田中 学

[陳情項目及び、担当省庁]

第 1 日 平成 30 年 2 月 6 日 (火)

13 : 30 「社会資本及び交通基盤の着実な整備」について

国土交通省 道路局環境安全課 糸野 企画専門官
鉄道局鉄道事業課 西野 企画調整官
鉄道局都市鉄道政策課 渡邊 専門官

15 : 00 「地震防災対策の推進」について

国土交通省 住宅局市街地建築課市街地住宅整備室 呉 室長
松本 係長

都市局街路交通施設課 田邊 専門官
向井 係長

住宅局住宅総合整備課環境整備室 藤井 企画専門官

内閣府 防災担当参事官付 渡眞利 参事官補佐

総務省 自治財政局地方債課 西林 係長

自治財政局財務調査課 宮野 係長

文部科学省 文教施設企画部施設助成課 時枝 課長補佐

16 : 30 「地方創生と地方財政対策」について

内閣府 まち・ひと・しごと創生本部 竹部参事官補佐

総務省 自治財政局交付税課 進 理事官

第 2 日 平成 30 年 2 月 7 日 (水)

10 : 00 「介護保険および国民健康保険事業」について

厚生労働省 老健局振興課 宇野 主査

保険局国民健康保健課 和田 吏員

13 : 30 「健康増進」について

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課 岡田 課長補佐

大谷 課長補佐

健康局健康課予防接種室 大林 室長補佐

玉井 評価分析専門官

第1日 平成30年2月6日(火)



柳本卓司参議院議員と

国土交通省に要望

大阪府選出の柳本卓司参議院議員事務所に出向き、今回の陳情活動を説明し、政府に対してのバックアップをお願いしました。続いて、北村経夫参議員にも同様のお願いをしました。



北村経夫参議院議員に陳情

続いて、衆議院第一会館に移動し、13時30分から、地元選出の谷川とむ衆議院議員事務所にて、国土交通省に対し「社会資本及び交通基盤の着実な整備」について要望を行いました。社会資本整備総合交付金が要望どおり交付されるように、十分な公共事業予算を計上、老朽化した鉄道安全輸送の更新等に対する国庫補助について、その補助率のかさ上げ、国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において、平成32年度までに実施することとされているJR東貝塚駅のバリアフリー化の早期事業化についての支援を要望しました。鉄道に関する要望で、全国には小規模な地方鉄道が96社あり、その中で9社が経営的に黒字で85社が赤字経営をしており、きめ細かな支援は厳しい

ようでしたが、格段の配慮をお願いしました。JR東貝塚駅のバリアフリー化については、担当の渡邊専門官もJR東貝塚駅の状況を熟知されていて、ホームが狭隘であることや、現在1日3名の車椅子での乗降客がおられることなど、貝塚市の要望に対する理解はされていました。

15時から、国土交通省、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省に「地震防災対策の推進」についての要望を行いました。その内容は、幼稚園・保育所をはじめ、全ての公共施設の老朽化や耐震化への対策、特に災害時防災拠点施設となる公共施設（市庁舎等を含む）の建替事業について、特段の財政措置の要望。都市計画道路泉州山手線については、「せんごくの杜」に整備された防災広場を泉南地区の防災拠点として活用するために不可欠な路線であることから、未着手区間の早期事業化に向けての支援。適正管理されていない空き家について、その適正な管理を促す法整備と財政措置を要望しました。特に貝塚市のビッグプロジェクトである市庁舎の建替えについて、様々な補助金の説明のレクチャーを受け、賢明な活用やもれなく活用できる術を勉強しました。泉州山手線については、貝塚市の本気度を伝えてこれからの事業着手に向けての格別の配慮をお願いしました。又、空き家については、代執行が全国で60例あるそうで、貝塚市も決断のときが迫っていると感じました。

16時30分から内閣府、総務省に「地方創生と地方財政対策」についての要望をしました。その内容は、人口減少・少子化対策など地方創生に対する取組みを主体的、長期的に推進できるように必要な財政措置と地域事情に応じた柔軟な運用の要望と、地方交付税の算定の見直しにおいて、国の政策誘導の手段として用いることの無いように要望をしました。



各省庁への要望の様子

第2日 平成30年2月7日（水）

陳情活動の前に、午前8時から自民党本部で行われた、文部科学部会にオブザーバー参加しました。議題は、文部科学省設置法の一部を改正する法律案についての条文審査、文化芸術推進基本計画（案）についての説明、学校教育法等の一部を改正する法律案についての概要審査でした。このように自民党では国会に送られる法案の審査等を党内で

議論し各議員の意見や修正を官僚が取り入れて、国会に送っているのがよく分かりました。

その後、衆議院第一会館に移動し、10時から厚生労働省に「介護保険および国民健康保険事業」についての要望をしました。その内容は、地域支援事業を推進するため、必要な経費の十分な確保と、地域支援事業費制限枠の拡大、地域包括支援センターの体制強化に対する必要な財源措置と、国民健康保険制度を安定的で持続可能な制度とするために医療保険制度の一本化に向けた抜本的改革の早期実現。又、国民健康保険財政の安定基盤を確立するための国庫負担率の引上げでありました。貝塚市においては、国民健康保険料が値上がりすることを伝え、対応できる措置をお願いしました。

その後参議院会館に出向き、自見はなこ参議院議員に要望を行いました。



谷川とむ衆議院議員と

自見はなこ参議院議員と

再び衆議院第一会館に移動し、13時30分より厚生労働省に「健康増進」について要望を行いました。その内容は、がん検診推進事業についての全額負担と大腸・胃・肺がん検診にも対象にすること。予防接種事業について、感染症対策として位置づけ、国において予防接種を実施することと、費用の全額負担。特定不妊事業について、国の少子化対策として全額の国庫負担をお願いしました。特定不妊事業については、早い段階での不妊治療が効果的であるため、何らかの啓発・啓蒙をお願いしました。

以上、今回の陳情活動が貝塚市にとってより有利な予算獲得に繋がることを願い、報告といたします。